

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2024年7月1日～2025年2月28日の期間に当院にて大腿骨近位部骨折と診断され、FLSの対象となった患者さん			
② 研究課題名	FLS導入後の大腿骨近位部骨折患者における身体・認知機能の経時的変化と外来フォローアップ継続率の検討			
③ 実施予定期間	2024年7月～2026年9月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	山崎 琢磨	所属	呉医療センター リハビリテーション科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	山崎 琢磨	所属	呉医療センター リハビリテーション科
⑦ 使用する試料・情報	収集する診療情報は下記の通りです。 性別、年齢、退院時・受傷後6か月・12か月時点での認知機能評価(HDS-R)、身体機能評価(握力、SPPB) ※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。			
⑧ 目的	骨折リエゾンサービス(fracture liaison service[以下、FLS])は二次骨折の連鎖を断つことを目的としています。当院でも2024年よりFLSチームを立ち上げ運用を開始していますが、FLS対象患者さんに対する身体機能の経時的変化や外来受診率、継続率に関する報告は少ないため、当院での状況を検討しました。			
⑨ 方法	上記①の期間中に、大腿骨近位部骨折を受傷されFLSの対象となった患者さんを研究対象とし、入院中、退院後の外来受診時に通常診療で実施した上記⑦に記載している評価情報を、カルテ及びリハビリテーション記録から抽出し、データの分析と検討を行います。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2026年4月24日		
	院長承認日	2026年4月24日		
⑩ 公表	個人情報保護は確保したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑪ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑫ 知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑬ 利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮ 問い合わせ	連絡先	市村 学人	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター リハビリテーション科			

呉医療センター院長